

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第10週（令和7年3月3日～令和7年3月9日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第10週は、RSウイルス感染症の定点当たりの報告数が前週比約1.32倍に増えており、今後の動向に注意が必要です。本疾患は、RSウイルスによる呼吸器感染症で、症状は発熱・鼻汁等の軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です。2歳までにほぼ全ての子どもが感染しますが、初感染では重症化しやすいと言われています。感染経路は、患者のくしゃみ等のしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる飛沫感染、ウイルスに汚染された物を介した接触感染です。感染予防及び拡大防止のため、流水・石けんによる手洗いを励行し、咳エチケットや適切なマスク着用を心がけると共に、おもちゃや手すりなどはこまめにアルコール等で消毒しましょう。
- 福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	8	121	215	2,057
腸管出血性大腸菌感染症	2	10	18	234
レジオネラ症	1	10	32	274
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	18	28	308
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	19	19	315
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	6	13	160
侵襲性肺炎球菌感染症	3	34	61	920
水痘（入院例）	1	3	5	80
梅毒	12	159	157	2,135
百日咳	20	166	353	2,365

■ 定点把握疾患報告数

警報レベル

注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	738	3.75	0.73	21,790	4.42
インフルエンザ	385	1.95	1.12	9,302	1.89
RSウイルス感染症	370	3.11	1.32	3,984	1.27
咽頭結膜熱	68	0.57	2.62	774	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	455	3.82	1.12	6,097	1.95
感染性胃腸炎	1,604	13.48	0.99	30,748	9.83
水痘	78	0.66	2.44	784	0.25
手足口病	12	0.10	1.33	157	0.05
伝染性紅斑	46	0.39	1.92	1,777	0.57
突発性発しん	31	0.26	0.78	565	0.18
ヘルパンギーナ	1	0.01	0.50	28	0.01
流行性耳下腺炎	2	0.02	0.67	112	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.00	—	28	0.04
流行性角結膜炎	9	0.35	2.25	509	0.73
細菌性髄膜炎	0	0.00	—	13	0.03
無菌性髄膜炎	0	0.00	—	10	0.02
マイコプラズマ肺炎	2	0.13	0.40	175	0.36
クラミジア肺炎	0	0.00	—	2	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	4	0.27	1.33	74	0.15

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。